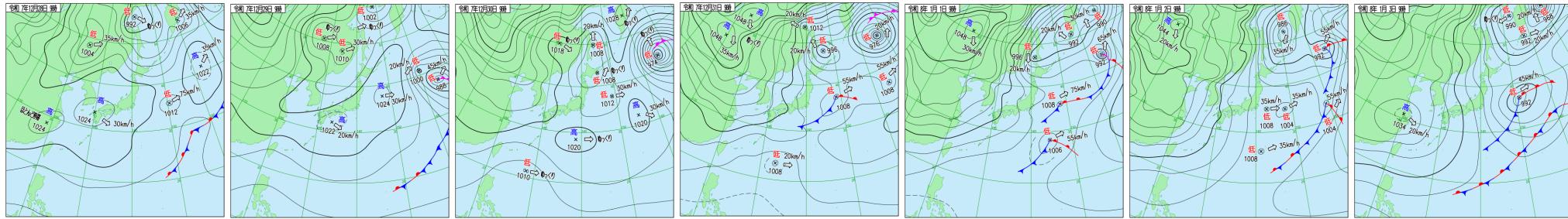


■天気図 (12月28日～1月3日 ※毎日午前9時を掲載)



【今期間の天候について】

■気圧配置の特徴

28日、本州付近は移動性高気圧に広く覆われた。北日本付近は気圧の谷で、等圧線の間隔が狭くなった。29日、高気圧の中心が日本の東と本州の南をそれぞれ東へ移動。日本海北部を低気圧が北北東進。30日、低気圧がオホーツク海を北上。9時には千島近海と日本の東、南西諸島の南にも低気圧が発生。移動性高気圧の中心が日本の南を東へ移動。31日、前線を伴った低気圧が日本の東を東進。オホーツク海の低気圧が北北西進。本州付近は冬型の気圧配置を形成。本州の南の低気圧は東進し、次第に小笠原諸島に接近。1日、低気圧が間宮海峡付近を南下。日本付近は冬型の気圧配置。2日、関東の東で次々に低気圧が発生。それぞれ北東進。日本付近は冬型の気圧配置が継続。3日、前線を伴った低気圧が日本の東を北東進。本州付近は、引き続き西高東低の冬型の気圧配置。低気圧からのびる寒冷前線が小笠原諸島を通過。

■降水

28日、未明は北海道で雪が強まり、浦河では3時間降雪量18cmで12月の1位の値を更新。南西諸島は断続的に雨となった。29日、日本海からシアラインが接近。北日本の日本海側や北陸で雨が降った。南西諸島は高気圧の縁を回る湿った空気の影響で強い雨が降った。30日、朝から北日本の日本海側や北陸で雨や雪に。午後にかけては次第に寒気が流れ込み雪の範囲が拡大。山沿いを中心に雪の降り方が強まった。31日、北日本から北陸を中心に雪や雨。秋田県、山形県に大雪警報が発表された。1日、上空の寒気が南下し、山形県肘折では24時間降雪量が80cmを超えるなど東北地方では記録的な大雪となった所も。2日、上空に強い寒気が流れ込み、日本海側を中心に雪。夕方以降は関東でも雪雲が発達し、東京で1cm、さいたまで5cmの積雪を観測した。3日、北日本日本海側～山陰にかけ雪に。関東甲信の山沿いでも3時間降雪量20cmの所があった。午後は次第に止む所が多くなった。

■気温

28日、朝は放射冷却の影響による冷え込みが厳しく、関東では今季一番の冷え込みに。29日、暖かい空気が流れ込み、全国的に平年より気温が上がった。特に北日本は平年より気温の上がった所が多く、札幌は平年比+4.9℃高い5.6℃を観測。30日、暖かい空気が流れ込み、東～西日本太平洋側を中心に気温が上昇。東京都心は11月下旬並みとなる15.3℃を観測。31日、寒気南下の影響で、前日よりも多くの地域で気温ダウン。北日本を中心に真冬日地点が多かった。1日、寒気が南下、北日本を中心に厳しい寒さに。東～西日本にかけても寒さが厳しく、日本海側を中心に平年より低い所が多かった。2日、西日本を中心に寒気の影響を受け厳しい寒さ。東京都心は夜から雪が降り、気温低下。日中は10℃超えたが、夜は1℃を下回った。3日、朝は上空の寒気の影響が残り、今季最低気温を更新した地点が多かった。東京都心の朝の最低気温は-0.5℃で今季一番となった。

気象レポート【全国版】

2026年1月7日発行 ②

株式会社 サニースポット

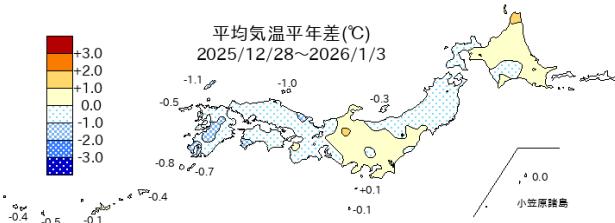
■今期間（12月28日～1月3日）の天候のまとめ

平均気温は、期間後半を中心に寒気が流れ込みやすく、全国的に平年並みか、平年よりやや低かった。東京都心は初雪を観測するなど冷え込みが厳しく、3日は今季最低気温となる-0.5℃を観測した。

降水量は、期間後半を中心に冬型の気圧配置となる日が多く、北日本の日本海側～山陰にかけて平年より多かった。一方、北日本～西日本にかけて太平洋側を中心に平年よりかなり少なく、降水量0となった地点が多かった。

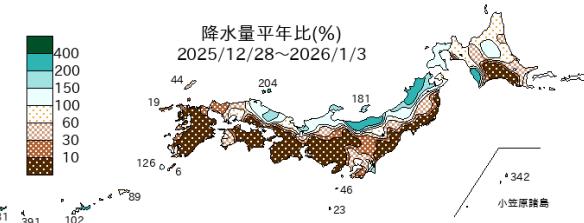
日照時間は、東日本～西日本にかけて晴れる日が多く、平年並みか、平年よりやや多い所が多かった。北日本や西日本の日本海側では雪や雨の日が多く、平年より少ない所が多かった。

■平均気温 (°C) と平年差 (°C)



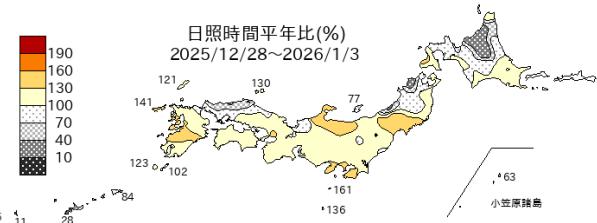
札幌	-2.1(+0.1)	旭川	-4.7(+1.0)
網走	-3.3(+0.6)	釧路	-2.8(+0.9)
室蘭	-0.4(+0.3)	秋田	0.9(-0.5)
仙台	3.0(+0.1)	前橋	5.1(+0.6)
東京	6.3(+0.3)	長野	0.5(+0.3)
新潟	3.4(-0.3)	金沢	5.2(+0.2)
名古屋	5.4(0.0)	大阪	7.0(0.0)
松江	5.0(-0.4)	広島	5.5(-0.6)
高知	7.0(-0.2)	福岡	7.2(-0.5)
長崎	7.7(-0.3)	宮崎	7.6(-0.7)
鹿児島	8.1(-1.2)	那霸	17.8(-0.1)

■期間総降水量 (mm) と平年比 (%)



札幌	22.0 (83)	旭川	24.0 (126)
網走	8.0 (59)	釧路	0.0 (0)
室蘭	0.0 (0)	秋田	72.0 (222)
仙台	0.0 (0)	前橋	0.0 (0)
東京	7.5 (82)	長野	0.0 (0)
新潟	105.0 (245)	金沢	90.5 (146)
名古屋	0.0 (0)	大阪	0.0 (0)
松江	32.5 (97)	広島	8.5 (100)
高知	0.0 (0)	福岡	0.0 (0)
長崎	1.0 (8)	宮崎	0.0 (0)
鹿児島	0.0 (0)	那霸	22.0 (102)

■期間総日照時間（分）と平年比（%）



札幌	702(66)	旭川	234(29)
網走	1673(114)	釧路	2629(109)
室蘭	697(72)	秋田	340(65)
仙台	2568(133)	前橋	3238(110)
東京	3216(122)	長野	2292(130)
新潟	974(118)	金沢	1192(142)
名古屋	2692(112)	大阪	2544(124)
松江	600(60)	広島	1807(92)
高知	3292(123)	福岡	1506(95)
長崎	2215(141)	宮崎	3156(116)
鹿児島	2276(115)	那霸	353(28)